

## 滋賀県食育推進計画の策定にあたって

滋賀県は、四方を鈴鹿山脈と伊吹、比良、比叡の山々に囲まれ、温和な気候、豊かな土、きれいな水に恵まれ、米づくりには最適の環境と言われており、昔から江州米（ごうしゅうまい）の産地として、名を馳せた米どころです。古くから湖国では、米を中心に地元でとれた野菜、大豆、湖魚をおかずにした食生活を営んできました。その土地の風土と歴史が育んできた食文化・食生活は本来、私たちのからだに最も適したものだと思います。



けれども残念ながら、ここ数十年間の経済の発展と、それにとまなう生活様式の変化は、私たちの食生活にも影響を及ぼし、今、食の大切さに対する意識が薄れ、健全な食生活が失われてきています。

私たちは、今一度、食の本質に立ち返り、自然からの恵みと食にかかわる多くの人々に対する感謝の気持ちを持つべきではないでしょうか。

そうしたことから、これからの食のあり方について、皆さまにも一緒に考え行動していただくために「滋賀県食育推進計画～まるごと“おうみ”いただきますプラン～」を策定しました。

食育を推進していくためには、行政だけではなく、家庭や学校、地域など様々な分野で協働して取り組むことが大切です。「おうみの食材を使わないともったいない」「食文化を忘れたらもったいない」「子どもたちに伝えないともったいない」という思い、県民の皆さまと共有して、このプランを実現していきたいと考えています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、プラン策定にご協力いただきました滋賀県食育推進協議会の委員の皆さまをはじめ、貴重なご意見等をいただきました多くの県民の皆さまに心からお礼申し上げます。

平成19年6月

滋賀県知事 嘉田由紀子